

# 第25回 桜まつり

3月30日(土)・31日(日)

花のない桜まつり

第25回桜まつり実行委員長 中村 伶華

地球全体の温暖化の影響か、桜の開花時期はここのところ早まっていて、これが定着した状況にありました。そのため文団連の桜まつりの開催時期は、4月の第1週の土、日に定着していたものを、本年の第25回から3月の最後の土、日曜日に早める決定をしました。当初の長期予報では3月20日前後の開花でありましたが、3月中旬以降の寒さ続きの関係で、今回の桜まつりはほとんど花のない中での開催となりました。やはり花あつての桜まつりであつて、両日とも来場者は昨年より大幅に少ない500名程度でした。



毎回心配される天候は、開催の3月30日・31日とも好天で、日中26～27度と暑い陽気の中での開催となりました。早くから準備をしっかりと行い、参加団体は30日の土曜日10団体152名、31日日曜日10団体132名の出演者、スタッフにより充実した舞台発表を行うことができました。

舞台設備は従来から入間市の川路工務店さんに制作、組立、撤収、保管をお願いしておりますが、テントも前回より業者に借用、組立依頼するようになり、客席も今までのブルーシートによる座敷から椅子席に変えたことで、入りやすく、気軽に利用できるようになりました。また、今回は18年使用の舞台の赤カーペットを新調しました。



開会の30日は小谷野 狭山市長、商工会議所 後藤会頭、文団連 小川会長のあいさつに始まり、最初の勇壮なさま太鼓から次々と熱演が続きました。二日目の31日も好天の下、民謡協会鶴の子会の民謡太鼓に始まり、最後のフィナーレ「狭山ふるさと音頭」まで、充実した、賑やかな舞台が繰り広げられました。すこやか体操、レクダンス、江戸芸かっぽれ等では、客席の皆さんに簡単な演技指導で呼びかけ、一体の場となり好評でした。

稲荷山公園の桜は昔から花の名所で、狭山市として開花の時期には臨時駐車場の設置や、ごみの処理を行っていましたが、昨年より開設が中止となり、周辺に一般駐車場がほとんどないため、車での来場ができない状況です。また、ごみ処理は持ち帰りをお願いするようになり、一部自販機の周りに放置が見られましたが、皆さんよく理解し、協力いただけましたようです。次回は、満開の花の下で賑やかに開催したいものです。



## 第32回青少年文化体験フェスタのご案内

新型コロナウイルス感染症対策として、この3年間は狭山市を3つのエリアに分け、募集対象小学校を少なくして縮小開催をしてきました。今年は、元に戻って、全市の小学校15校を対象として参加者募集を行います。提供できる講座も12種類に増やして、子ども達が笑顔で体験講座に参加してくれるのを待っています。

第32回青少年文化体験フェスタ

日程：令和6年7月6日(土) 10時～12時、13時～15時

開催校：狭山市立柏原小学校

※案内チラシと申込書は、各小学校経由で配布します(6月5日頃)